

社会福祉法人 六高台福祉会

2023 年度 (R5)

事業計画書

社会福祉法人
六高台福祉会

松寿園

Shojuen

社会福祉法人 六高台福祉会

サービスコンセプト

理念

みんなの笑顔のために

素晴らしかったと言える人生のために

～1人のゲスト、1日の暮らし、そして1つ1つの介護から～



経営方針

- ❑ 地域に必要とされる事業等の展開を通し、社会貢献を積極的におこないます
- ❑ 福祉と介護事業のバランスを保った経営管理をおこないます
- ❑ ゲスト・ご家族・地域・職員の満足や安心を追求します
- ❑ 職員(人)を育てることを大切にします



介護方針

- ❑ 介護を自分のこととして考えることを基本とします(共生)
- ❑ 人が人として在り続けられる為の支援を提供します(人権)
- ❑ 介護を通して人生の安心・自由・喜び(明るい社会)を支援します(社会貢献)
- ❑ みんなの声が反映されるサービスを大切にします(協同)
- ❑ 自立支援型の介護を目指し、自己研鑽に励みます(専門性)



職員行動基準

- ❑ 温かいあいさつをします
- ❑ 温かい笑顔で仕事をします
- ❑ ゲストと一緒に楽しい時間を送ります
- ❑ 一流の介護人である前に一流の社会人になります
- ❑ 向上心を持ち、前向きな気持ちで仕事に励みます



社会福祉法人

六高台福祉会

Rokkoudai Fukushikai

事業計画のマップ

サービスコンセプト

1. 法人概要 1

2. 各事業の事業計画 6

- ・各事業の稼働率等の目標 8
- ・組織図 9
- ・法人本部サポートセンター 10
- ・施設サービス部（特別養護老人ホーム・エミシア松戸六実） 14
- ・地域福祉サービス部（ショート・デイ3事業所・ヘルプ・居宅・ケアスクール・福祉有償運送） 19
- ・地域包括支援センター部（六実六高台・明第1） 30
- ・公益的取組み 33

3. その他 39

- ・六高台福祉会のあゆみ 39
- ・会議・委員会 40

4. 法人の中長期行動指針 45 *2面刷り

- I. ゲストに対する基本姿勢（CS） 45
- II. 地域に対する基本姿勢（CSR） 48
- III. 福祉人材に対する基本姿勢（ES） 50
- IV. マネジメントに対する基本姿勢

1. 法人概要

法人名称	社会福祉法人 六高台福祉会（1986年9月11日）		
主たる事務所	千葉県松戸市六高台2丁目19番の2 ☎047-386-6357 FAX047-387-8720		
理事長	正田 貴之（統括部長）		
理事	松澤 陽子	前理事長	
	澁谷 正行	六実六高台地区社会福祉協議会事務局長	
	津川 正治	松戸市清掃事業協同組合理事兼事務局長	
	平居 昭範	特別養護老人ホーム松寿園・アネックス施設長	
	齋藤 直人	地域福祉サービス部部長	
評議員	石井 清	連合町会会長・前理事	
	藤木 政雄	前理事	
	松村 義彦	他社会福祉法人評議員・前理事	
	高橋 功	地区社会福祉協議会会長・前理事	
	中島 幸造	前理事	
	渡辺 トク	保護司、ボランティア代表	
	柴田 時子	民生児童委員	
監事	小川 新生	財務管理について識見を有する	
	水落 英子	社会福祉事業について識見を有する	
事業の種類	1. 第一種社会福祉事業 イ) 特別養護老人ホームの経営 2. 第二種社会福祉事業 イ) 老人デイサービス事業の経営 ロ) 老人短期入所事業の経営 ハ) 老人居宅介護等事業の経営 3. 公益を目的とする事業 (1) 居宅介護支援事業の経営 (2) 地域包括支援センターの受託運営 (3) サービス付き高齢者向け住宅事業の経営 (4) 松戸市介護予防・日常生活支援総合事業の経営 (5) 社会福祉の増進に資する人材の育成・確保に関する事業 (介護福祉士等の養成事業)の経営 (6) 福祉有償運送事業の経営		

担当理事

項目	担当理事	内容
統括	正田理事長	とりまとめ
サービスの質の向上	平居理事 齋藤理事	業務改善・効率の向上 介護ロボット・テクノロジーの活用 業務の標準化・平準化 介護事故・リスクマネジメント 虐待防止
職員育成・確保	齋藤理事 平居理事	教育・研修 防災（自然災害・感染症災害） 採用（実習生・新卒・中途・外国人 介護職員等）
職員定着	齋藤理事 平居理事	理念の浸透 処遇・環境改善 ワークライフバランスの推進
渉外	津川理事 澁谷理事 松澤理事	所轄庁等公的機関他
経営改善	全理事	月次予算管理 月次収支管理 規定類の整備・活用・周知 事業運営の見直し 事務費・事業費の見直し

理事会・評議員会等スケジュール

開催月（予定）	評議員会/理事会 幹事監査	主要議題（予定）	備考
2023年5月	監事監査	2022年度計算書類	
2023年6月	理事会	2022年度計算書類及び財産目録 2022年度事業報告 監事監査報告・社会福祉充実計画 理事・監事候補者の選任 定時評議員会の開催	監事監査 報告
2023年6月	評議員会	（報告）2022年度事業報告 2021年度計算書類及び財産目録 理事・監事の選任	
2023年10月	理事会	業務執行の状況報告等	
2024年3月	理事会	2023年度補正予算 2024年度事業計画・2024年度予算 業務執行の状況報告等	
2024年3月	評議員会	同上	
<p>必要に応じて臨時開催・・・定款に定める議決事項及び重要事項について評議員会、理事会を随時開催する。また、定款第11条に定める監査を行うほか、必要に応じ中間監査を行う</p>			

借入金償還計画

内容	借入先	当初借入額	償還済	当期償還	残額 (2023/3)
3号館 特養 認知症 DS	独立行政法人 福祉医療機構 (2011/8)	361,800,000円 (利率1.4%)	193,433,000円	20,004,000円 (利息2,508,830)	148,363,000円
1号館 改修 特養	独立行政法人 福祉医療機構 (2011/8)	13,100,000円 (利率1.4%)	7,040,000円	720,000円 (利息100,380)	5,340,000円
合計	独立行政法人 福祉医療機構	374,900,000円	200,473,000円	20,724,000円	153,703,000円

主な予算の計画（工事・修繕・その他）

内容	金額	備考
ボイラー更新工事	(8,000,000円)	H8年、27年経過 *補助申請・補正予定
キュービクル高圧機器 交換工事	1,200,000円	S61年以来、36年経過
入浴機器設置工事	500,000円	特養
消防設備修繕	350,000円	誘導灯、バッテリー等
ワックス清掃	2,200,000円	
空調機器洗浄クリーニング	1,000,000円	3号館居室、エミシア居室
修繕予備費	3,000,000円	空調機器、給湯器、厨房機器等
合計	8,250,000円 (16,250,000円)	

固定資産等購入計画

内容	金額	備考
入浴機器	3,500,000円	シャワー入浴装置・特養
車両の入替	(3,000,000円)	送迎用福祉車両1台 *補助申請・補正予定
ベッドの入替	2,000,000円	10台・特養
PCの入替	1,500,000円	15台
車いすの入替	600,000円 300,000円	5台(リクライニング)・特養 5台・デイサービス他
センサー(床・チェア)	350,000円	10セット・特養
ベッドL字柵	250,000円	5本・特養
段ボールベッド	200,000円	災害用(20)
合計	8,700,000円 (11,700,000円)	

2. 各事業の事業計画

2023 年度の全体方針

六高台福祉会は、コロナ禍の3年間にわたり、止むを得ず感染症対策の取組みを優先的にこなってきました。結果として、この期間におけるサービスの硬直化や品質向上の停滞は免れず、今後ウイズコロナの対応と並走しながら、それらを取り戻すことが喫緊の課題となっています。2023年度からは、ウイズコロナの対応と並走して、本来の力点である「介護サービスの質の向上」を柱にした実践を取り戻す1年としたいと思います。いつまでも、コロナの前に潜行し続けるわけにはいきません。職員個々のスキルアップをベースとした各事業所の専門性の向上によるサービスの改善の繰り返しによる、顧客満足度向上、職員満足度向上、ひいては、法人の関係者皆様の笑顔の総量を増やしていくという理念の具現化に忠実な取組みを進めていきたいと思えます。

3つの方針と10のアクションプラン

法人設立37年目の2023年度の当会の事業計画を「3つの大きな方針」と「10のアクションプラン」としてまとめました。基本介護の更なる充実はもとより、松寿園サービスの価値を更に高め、40年、50年を見据えた法人運営及び組織強化を図ってまいります。また、次の介護保険制度改正（2024年）の動向を注視、地域包括ケアシステムの充実に向けた主導的な役割が果たせるよう地域福祉への貢献を進めてまいります。

3つの方針

1. 質の高いサービスの提供を推進

質の評価尺度やデータ活用を行いながら、科学的に効果が裏付けられたサービスを提供
自立（律）支援・重度化防止等の取組を推進、負担の少ないケアを推進

2. 経営力の強化

各事業収入と支出のバランスの均衡を保ち、必要な設備の更新の準備等を進める
サービスの標準化・平準化を進め、より効率的なサービスのあり方を研究
社会福祉連携推進法人に関しての調査・研究、法人組織の見直し

3. 働きやすい職場環境づくりの推進

福利厚生や労働条件を含めた環境改善の視点はもとより、職員が属する各チームのより良い
雰囲気づくり（心理的安全性）の視点からの職場環境づくりの推進

10 のアクションプラン

① 介護技術の5つの基本を主としたサービス
1) 安全を最優先にした介護 2) 介護されていてもご自分（ゲスト）で動いたと思えるような介護 3) 苦痛や恐怖心を抱かせない介護 4) 必ず声かけし、説明と同意を得る介護 5) 身体状況や体調に合わせた介護
② 寝たきり防止・重度化防止の取組と看取りへの対応の充実
機能訓練・口腔ケア・栄養ケアの強化。ADL 維持、褥瘡発生防止、排泄の状態の改善の取組、ガイドラインに沿った看取りの取組、喀痰吸引の適切な実施体制の構築
③ 介護サービスの質の評価と科学的介護の取組
LIFE へのデータ提出とフィードバックの活用 特別養護老人ホームの各フロアの介護の標準化・平準化、フロア評価の取組み、リーダーの育成
④ 生産性向上の取組（テクノロジーの活用による業務効率化・業務負担軽減）
介護ロボット、見守り機器、インカム、ICT、生産性向上に資するガイドラインに沿った取組 介護負担を軽減する取組みを推進
⑤ 事故発生防止の取組（リスクマネジメント）と高齢者虐待防止の取組
安全対策担当者・虐待防止担当者の配置、リスクマネージャー（初級・中級）の育成 身体拘束ゼロの推進、違和感のあるケア・不適切なケアから丁寧な対応
⑥ 経営力の強化
運営コストの高騰に対する効率的な事業運営（組織の見直し、稼働率の向上、業者選定、補助金活用） 社会福祉連携推進法人についての調査・研究、インフラ設備更新の調査・検討
⑦ 働きやすい職場づくりの推進
福利厚生、労働条件、ハラスメント対策を含めたより良い職場環境づくり 共通目的と貢献意欲を高める、一人ひとりの職員の心理的安全性が保たれた職場づくり 時間外労働の削減、外国人介護職員が安心して就労できる環境の推進
⑧ 感染症や災害への対応
感染対策と日常生活の両立を推進（アフターコロナの生活を充実） DWAT（災害派遣福祉チーム）への参画 防災食の見直し、避難所機能の強化
⑨ 住まいにおける生活環境の改善の取組
よりおいしく安全な食事の提供（食事サービス委託業者の見直し） インフラ設備の更新の準備・実施（空調設備、ボイラー、EV等） 施設機能の保全に必要な修繕を順次計画、実施する（補助事業の情報収集等含む）
⑩ 公益的取組の推進
住み慣れた自宅での生活が継続できるための支援をとおして地域貢献を推進 ・福祉有償運送サービス・グリーンスローモビリティ・ケアスクールプラス（初任者研修） ・公益的取組みの再開の検討、友達の輪食堂（孤食対策）実施の検討

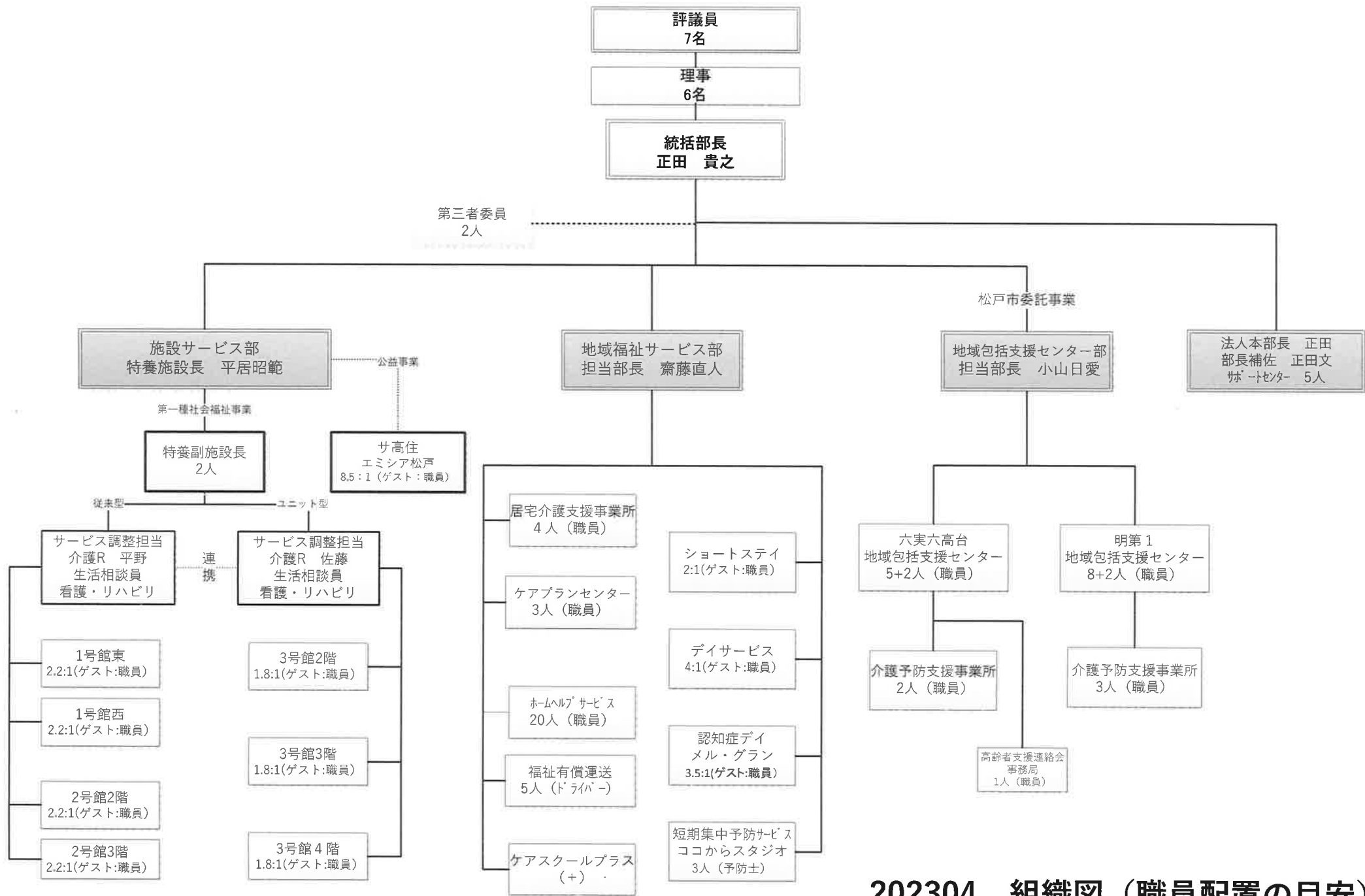
【過去の事業計画の全体方針】

2008	暮らしの安心・自由・喜び	2015	今よりもっと良い方法がある！
2009	基本を見つめなおそう ～基本の振り返りからサービスを展開しよう～	2016	今よりもっともっと良い方法がある！
2010	社会に通用するサービスへ	2017	SSK 初心・新化・感謝
2011	楽のあるサービス	2018	働き方の効率と多様性を高めよう！
2012	自分が受けてもよいサービスを提供しよう！	2019	満足度（職員・ゲスト）を高めよう！
2013	当たり前の暮らしを送り続けられる ために ～普通のケアを、普通に！～	2020	介護を通じて「生きる」をサポートする
2014	人生楽しく真剣に！ 心に花を咲かせよう！	2021 ～	3つの方針と10のアクションプラン

各事業の稼働率等の目標

【目標稼働率・人数】

事業		定員	目標稼働率	目標人数
1	特別養護老人ホーム従来型	90人	97.5%	87.8人
2	特別養護老人ホームユニット型	60人	97.5%	58.5人
3	ショートステイ	20人	95.0%	19.0人
4	デイサービス	35人	85.8%	30.0人
5	認知症対応型デイサービスル・グラン	12人	83.3%	10.0人
6	ココからスタジオ	12人	事業再開	—人
7	ホームヘルプサービス	—	—	実働120人
8	サ高住 エミシア松戸六実	26人	96.2%	25.0人
9	居宅介護支援事業所松寿園	—	—	39人/CM
10	ケアプランセンター六実	—	—	39人/CM
11	介護予防支援事業所（六実・六高台）	—	—	70人/CM
12	介護予防支援事業所（明第1）	—	—	70人/CM
13	人材の育成・確保に関する事業 （奨学金・ケアスクールプラス）	12人	25%	3人/回
14	福祉有償運送事業	—	—	登録40人



202304 組織図 (職員配置の目安)